

Vol.65

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-02-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00065276

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



資料館だより



北溟寮の表札「北溟寮」

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告／投稿
- 3… 投稿(続き)
- 4… 開催案内／移管・寄贈資料

TOPICS

特別展「金沢大学と石川県の考古学—北陸人類学会から現在までの歩み—」を開催



資料館では、展示室において特別展「金沢大学と石川県の考古学—北陸人類学会から現在までの歩み—」を令和3年9月10日(金)から10月25日(月)まで開催しました。

この特別展は、日本考古学協会金沢大会が昨年度に角間キャンパスで開催されることを記念して石川考古学研究会と金沢大学埋蔵文化財調査センターと連携して開催しようとして準備を進めていたところですが、新型コロナウイルス感染予防対策として、同大会の開催が1年延期になり、これに連動して本年度の開催になったものです。感染の長期化により本年度の開催も危ぶまれていましたが、何とか開催することができました。

展示会は、金沢大学の前身校の一つである第四高等学校(旧制)の教員が発起人となった北陸人類学会の設立から現在に至るまでの石川県内の考古学研究の歴史とその成果として、発掘された埋蔵文化財を紹介しました。

なお、展示内容については、図録の残部を展示室前に配架(電子版は金沢大学学術情報リポジトリKURAに収録)してありますので、御覧ください。

また、YouTube(<https://www.youtube.com/watch?v=Y1PwKfccSi0>)でも紹介しています。



(YouTube金沢大学資料館 令和3年度特別展紹介動画 ↑)

展示活動報告

アウト
リーチ展

出張写真展「あのころの金沢大学」開催

会期 令和3年10月15日～11月4日 会場 金沢城公園鶴の丸休憩館

例年、金沢城公園で開催している写真展「あのころの金沢大学」は、大学のホームカミングデーの開催に合わせて10月から11月に開催しています。

今年の写真展は、河北門から鶴の丸休憩館に会場を移して実施し、24枚の写真パネルと当時のキャンパス配置図を配置し、城内キャンパスがあったころの各キャンパスの様子を紹介しました。

21日間の開催期間中に14,809人の入場者があり、多くの方に御覧いただきました。



投稿

学生企画展を通して感じたこと ～企画から展示まで～



【全体を振り返って】

2020年度上半期から流行を始めた新型コロナウイルスの影響を受け、私たちの身の回りの生活がガラッと変わってしまった状態で、今年の学生企画展は始動しました。感染状況によっては、それぞれのグループが別々の部屋で活動するなど、例年とは少し異なった授業形態で企画が進んでいきました。これらの経験を通して何度も話し合いを重ねた結果、「光」をテーマにした展示をつくることにしました。『光をシコウする』と題して、光に向き合ってきた先人たちのシコウに焦点を当て、それぞれの班

ごとに光をシコウしながら展示を行いました。

私は全体のリーダーとして、企画展全体に関わる活動を進めたり、企画書の作成を行ったりしました。資料・キャプション班、デザイン班、展示班それぞれが自分の役目をきっちりこなし、率先して声を挙げてくれたおかげで、実習生全員で一丸となり、ひとつの展示をつくることができました。展示がすべて完成した時には、今までにない達成感があり、良い経験になりました。今回企画展を実施するにあたって、先生方、資料館の職員の方々、TAの古田さんにさまざまな形でサポートして頂きました。心より感謝申し上げます。

人間社会学域人文学類 4年 多田明加

【ミュージアムツアーの振り返り】

私たちは今回の学生企画展の一貫として、12月13日(月)～17日(金)の5日間、ミュージアムツアーを各15分ほどで開催しました。参加者は各回20名前後と、多くの方にお越しいただきました。ツアーの準備段階では、のちに動画にして公開することも考慮して、内容に被りが少ないよう分担しました。初回には展示のコンセプト、次に1章、2章、3章の資料紹介を3日間で行い、最終日には展示準備段階での話を紹介しました。それぞれ思い入れのある資料の紹介から、展示準備の裏話まで、楽しんで聞いてもらうための工夫が各回に見られました。展示では伝えきれなかった一人一人の思い、思考が垣間見える15分でした。参加者から出た質問への対応から、私たち自身が展示を見つめなおすキッカケにもなりました。これから動画になることで、より多くの方に展示を楽しんでいただけると幸いです。

人間社会学域人文学類 4年 椿野智之

【資料・キャプション班の作業を振り返って】

資料・キャプション班では、コンセプトに合った資料の選定、資料の情報収集、解説文の作成などに務めさせていただきました。活動全体を通して、「光」という抽象的なテーマについて客観性を持たせることが、最も大切なことであったと思います。

第1章は文系実習生が多数の中で光学分野について理解をすること、第2章は展示の流れを整えるための資料を選択すること、第3章は誰もが納得できる抽象的な「光」の根拠を探ることが非常に難しかったです。解説文を作成するにあたっては、説明するべき部分としなくてよい部分について、班内で話し合いと指摘を繰り返しました。何度もコンセプトに立ち返りながら進めたことで、企画者・来館者、全ての人に納得して頂ける「光」をシコウすることができたと思います。

支えていただいた皆様に心より感謝申し上げます。

人間社会学域人文学類 4年 中村 繪

【展示班の作業を振り返って】

本企画展において展示班は主に展示計画、具体的には展示順路や、什器の配置、展示空間の雰囲気づくりに関する計画を中心に行いました。展示計画はただ展示資料の配置を計画するだけでなく、全体のテーマや、メッセージ性、資料の特徴など様々な視点を考慮に入れた計画が求められ、想像以上にやりがいのあるものでした。

初めに、資料館に実際に赴き、展示計画の為に必要な情報である什器や展示空間の測定を行いました。また、測定したデータと、資料キャプション班と共有した資料の情報をもとに、資料と什器の組み合わせや配置案を班員一人一人が考えました。続いて、どのようにしたら来館者にメッセージが伝わるのか、楽しんでもらえるのか、新たな発見を提供できるのか工夫を凝らし、各案を統合しました。そうして出来上がったのが今回の展示空間です。

実際の展示作業で考えた案が形になっていくにつれて、素晴らしい達成感を味わうことができました。

自然科学研究科自然システム学専攻 博士前期課程1年 中神悠雅



【デザイン班の作業を振り返って】



デザイン班では、ポスターやチラシ、キャプション、パネル等の作成を担当しました。初めて使うAdobe Illustratorに最初は戸惑いましたが、班員全員で操作方法を教え合い、最終的には一人一人に作業を任せられるようになりました。今回のデザインについても、全員で光のイメージについて話し合い、フォントや使用色、配置等細かな点まで試行錯誤して作り上げました。また、パネルやキャプションを制作する際には、誤字脱字がないか、記号が統一されているか、行列が揃っているか注意して印刷し、一枚ずつのりパネルに貼ってカッターで

切り取る作業を行いました。このような作業は大変でしたが、自分たちで一から制作したポスターやパネルが展示室に並んでいるのを見たときは達成感に満ち溢れました。そして、デザインは展示のイメージをわかりやすく可視化したり、企画展の統一感を出したりすることができると思ふと、改めて重要性を実感しました。デザイン班での経験を通して、身の回りに溢れているデザインについてもう一度見つめ直すきっかけになりました。

人間社会学域人文学類 4年 酒井真白

開催案内

後期
企画展

「財(たから)のまち!? 宝町2 -宝町遺跡第20次発掘調査速報展-」

会期 令和4年2月1日～3月11日 会場 資料館展示室

資料館展示室では、本学埋蔵文化財調査センターとの共催で後期企画展「財のまち!? 宝町2」を開催します。この展示会は、附属病院機能強化棟建設に伴い、令和3年8月から9月にかけて埋蔵文化財調査センターが実施した宝町遺跡(近世・近代主体の遺跡)の第20次発掘調査の成果を速報的に展示するものです。また、角間遺跡(縄文時代・平安時代主体の遺跡)・鶴間遺跡(近代主体の遺跡)の出土遺物も併せて展示します。

ぜひ、御来場いただき、金沢大学のキャンパスの下に眠っていた「財」を御覧ください。



移管・寄贈資料

令和3年5月～令和3年12月

移管・寄贈資料

今期も貴重な資料を移管・寄贈していただきました。当館にて大切に保存し、活用させていただきます。ここに、改めて感謝申し上げます。

移管

- ・ 廃止した公印 (16点)
- ・ 式典での告辞等原本一式 (269点)
- ・ 寄附金受入れに係る資料一式
- ・ ワンダーフォーゲル部旧蔵資料一式 (27点)
- ・ 西田幾多郎 書「一日不作一日不食」(額)
- ・ 金沢大学キャンパス写真ファイル (7点)
- ・ キャンパス航空写真等のポスター (12点)

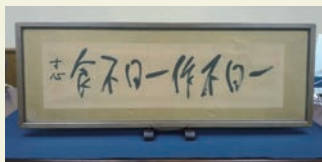
総務部総務課総務係

附属図書館

人間社会系事務部総務課

総務部広報室

//



西田幾多郎(額)



ワンダーフォーゲル部歌集

寄贈

- ・ 金沢医学専門学校卒業証書 明治38年
- ・ フィルム「日本の教育」四高物語

中村 元 氏

竹村 修 氏



金沢医学専門学校卒業証書



フィルム「日本の教育」四高物語

編集後記

「新しい生活様式」が唱えられて以降、展示室の床にフロアマーカーを貼る作業が通常の展示作業に加わりました。学生企画展では、実習生がテープを足型に切り抜き、動線上で間隔を測りながら丁寧に貼っていました。不自由な日常になりましたが、展示会の動画配信等、これまでとは違った博物館の楽しみ方も広がっています。とはいえ、一日も早く、足元のマーカーを気にせず自由に、時には語らいながら展示を御覧いただける日が待ち望まれます。(藤原真理)

金沢大学資料館だより

第65号 令和4年1月発行



発行/編集 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町

TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050

Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<https://museum.kanazawa-u.ac.jp>